



子宮内膜異型増殖症・子宮体がんに対する

メトホルミンの 医師主導治験のお知らせ

治験実施期間:2019年7月～2024年12月

症例登録期間:2019年7月～2021年12月

妊孕性温存療法の対象となる 子宮内膜異型増殖症・子宮体がんの患者さん をご紹介します。

現在、子宮内膜異型増殖症・IA期子宮体がんの妊孕性温存療法に対し、メトホルミンの適応拡大をめざした医師主導治験を行っています。

妊孕性温存を希望する子宮内膜異型増殖症・IA期子宮体がん患者さんに対し、現在行われている黄体ホルモン療法(MPA療法)は、比較的高い割合で奏効するものの、一旦奏効した後の再発率が高いことが問題となっています。

本治験では、従来の妊孕性温存療法(MPA療法)にメトホルミンを併用し、治療効果を確認するとともにメトホルミンの適切な用量を決定することを目的としています。

妊孕性温存療法を希望する
子宮内膜異型増殖症または
子宮体がんの患者さん

18歳以上42歳以下の
患者さん



本治験は、子宮内膜異型増殖症・IA期子宮体がんの妊孕性温存療法として、メトホルミンの適応拡大をめざした医師主導治験です。

対象疾患

子宮内膜異型増殖症・IA期子宮体がん

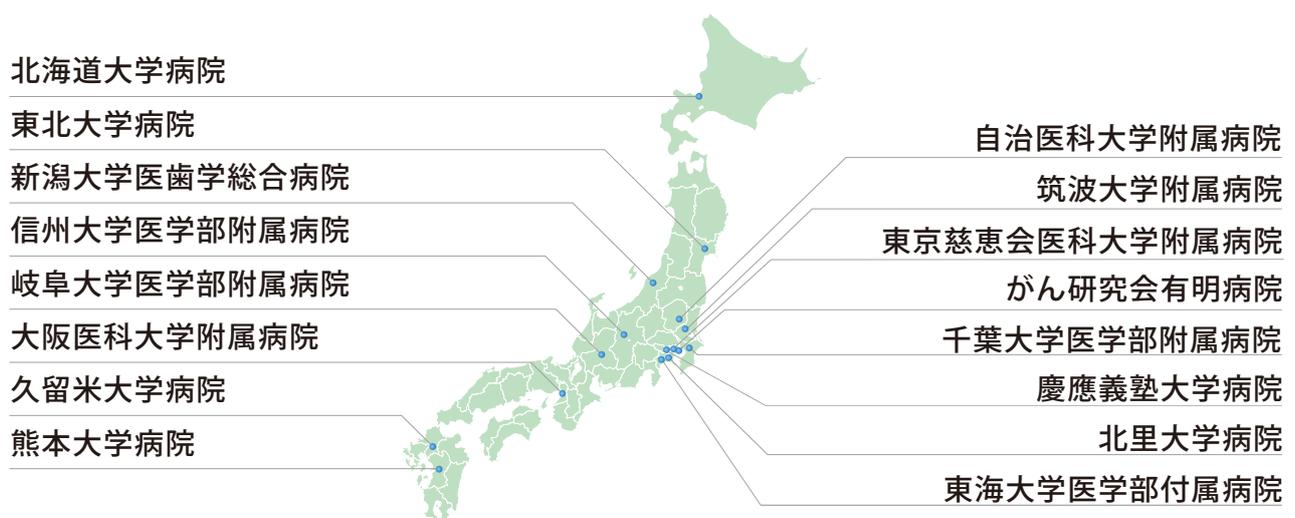
選択基準(抜粋)

1. 子宮内膜異型増殖症、子宮体がんと診断され、子宮温存が可能な患者
2. 子宮内膜異型増殖症、子宮体がんの前治療歴がない患者
3. MPA及びメトホルミンに対して過敏症の既往歴がない患者
4. 18歳以上42歳以下の患者

除外基準(抜粋)

1. MPA及びメトホルミンの投与が禁忌の患者
2. コントロール不良の糖尿病患者
3. ビグアナイド系糖尿病治療薬を服用している患者
4. ステロイド剤の継続的な全身投与を受けている患者

治験実施施設



お問い合わせ先 治験調整事務局（千葉大学医学部附属病院 臨床試験部）
TEL：043-222-1206
E-mail：FELICIA@ML.chiba-u.jp

[本治験に関する詳細はこちら➡](#)

